

第1回練馬区みどりの区民活動会議 ～意見交換の記録～

憩いの森等区民管理団体

Aさん

- ① 屋敷林の跡地の維持管理
武蔵野のみどりに花壇の彩りをプラス
- ② 石庭の森緑地隣接マンションへの移住
をきっかけに屋敷林を守りたくて活動を開始
- ③ 若い人の参加を増やしたい
森やみどりを残すこと

Cさん

- ① 地域貢献をテーマに地域の方々と協力
して憩いの森を管理
- ② 4年前の練馬まつりで、みどりのまち
づくりセンターから樹林地の管理活動を知って
- ③ 昔に比べて減っている
みどりを守り繋いでいきたい

Bさん

- ① 公園の低木の補植（10年間で3,900本）
憩いの森の管理
- ② 平成18年「みどり30基本方針」を受け植樹活動
を提案、民有地の植樹活動から補植活動に発展
- ③ メンバーの高齢化・他団体との連携
民間の力を借りた公園の管理活動

Dさん

- ① 上石神井憩いの森を拠点に、みどりを広く
捉えて情報発信や活動を実施
- ② 江戸時代から続いた農家（母の実家）の畑・屋
敷林が相続でなくなった経験から、みどりのま
ちづくりセンター支援を受け活動を立ち上げ
- ③ みどりを増やす方法
（気候変動適応につながる
木陰をつくる大きな
木を育てることなど）

Eさん

- ① 区民に感動を与える花壇をつくる！
- ② 練馬区への引っ越しを機に
緑化協力員に応募、その後花壇活動へ
- ③ 参加者が高齢化、若い人に参加して
もらいたい

Fさん

- ① 花壇の植替え活動、ご近所とのコミュ
ニケーションが広がった！
- ② 引っ越しを機に地域のボランティア活動
に参加、そこで花壇活動を勧められて
- ③ 「花フェスタ」をやってみたい

Gさん

- ① 公園入口の約9㎡の円形花壇のお世話
- ② つながるカレッジねりま コミュニティ
ガーデナーコース受講
- ③ メンバー高齢化 → 活動の継続
かけがえのない農地の減少

区民協働花壇団体

Hさん

- ① 花壇の植替え（年3回）、通りがかりの人
が声をかけてくれることがうれしい！
- ② 先輩から町会活動の責任者を頼まれて
花壇管理未経験からスタート
- ③ みどりが地域のつながりを生むこと
を実感、会議の成果を活動に還元したい

Iさん

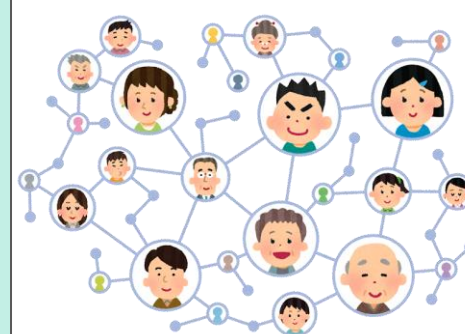
- ① プランター花壇のお世話
- ② つながるカレッジねりま福祉部門卒業
子どもへの声掛け活動を経て、コミュ
ニティガーデナーコースを受講
- ③ みどりの活動は高齢者の
生きがい！

お互いを知るため 自己紹介・活動紹介 をしよう！

- ① いま取り組んでいる活動
（またはこれから取り組みたいこと）
- ② 活動を始めた経緯
- ③ この会議への意気込み
今後考えていきたい課題

Lさん

- ① 小学校の練馬大根育成ボランティア、
豊玉リサイクルセンターでの活動 など
- ② 練馬区への引っ越しを機に
知り合いを増やしたくて登録
- ③ 宅地化される農地と樹林を守ること
循環（落ち葉堆肥、生ごみ・給食残渣
の堆肥の活用）



Jさん

- ① 保護樹木が6本あるお宅の落ち葉清掃
- ② 定年後に勤務日数が減り、生まれた時間を
活かすため、ボランティアに応募
- ③ 所有者が高齢化で管理しきれず、やむなく
貴重な樹木がなくなることの危機
保全・管理する方法を考えたい

Kさん

- ① 400年続く屋敷林の落ち葉清掃
- ② 農家さんから聞いた落ち葉、農産物の循環
の話を感銘を受けて
- ③ 提案：親子で参加できる場や機会
ネットを見ない人にも伝わる広報

Mさん

- ① 区民協働花壇の団体の活動
オープンガーデンチャイ旅の事務局など
- ② コロナ禍を機に地域の菜園に関わり、
花の知識を身につけたくてつながるカ
レッジねりまを経て団体に所属
- ③ 歴史ある個人邸のお庭を残すこと
気候変動や倒木リスクを踏まえ、
みどりを増やすだけでなく、いかに
質高く維持管理していくか

Nさん

- ① 人材バンクに登録して1年
南大泉で活動を探したい
- ② 江東区から練馬区に引っ越して、みどりの
効果を実感、生産緑地の減少を危機
- ③ 最初の一步を踏み出すために、団体の
想いやストーリーが見える情報発信が
重要

落ち葉清掃ボランティア運営サポーター

練馬みどりの人材バンク

